

勝央町

第105号

議会だより

平成19年8月1日発行 編集/町議会広報編集委員会
発行/岡山県勝央町議会 〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 201 TEL(0868)38-3111



も
く
じ

- ▶ 第二回定例議会・陳情・請願…………… 2頁
- ▶ 一般質問…………… 3～6頁
- ▶ 統合に向けて 植月小学校…………… 7頁
- ▶ 編集後記・日本一 他…………… 8頁

平成19年 勝央町議会第2回定例会

議案内容

専決案件 3件

◎勝央町税条例の一部改正

◎勝央町国民健康保険税条例の一部改正

◎平成19年度勝央町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算書

条例案件 1件

◎勝央町国民健康保険税条例の一部改正

規約案件 1件

◎岡山県市町村総合事務組合の組合市町村数の増加及び規約の変更

認定案件 1件

◎勝央町道の認定

補正案件 4件

◎勝央町一般会計

◎勝央町国民健康保険事業勘定特別会計

◎勝央町公共下水道事業特別会計

◎勝央町老人保健特別会計

報告案件 4件

◎平成18年度勝央町一般会計繰越明許費計算書

◎平成18年度勝央町公共下水道事業特別会計繰越明許費計算書

◎平成18年度勝央町介護保険特別会計繰越明許費計算書

◎平成18年度勝央町下水道事業会計予算計算書

請願、陳情

◎下町川塩津上地区旧道の補修工事に関するもの

◎地方財政に関する意見書採択を求めるもの

◎最低賃金法の抜本改正と均等待遇の実現を求めるもの

以上3件は総務産業委員会に付託され、会期中に

審議され、本会議において採択とした。

◎道路整備予算確保に係る意見書は採択とした。



下町川塩津上地区



一 般 質 問

日笠善勝

小学校統合後の跡地利用は

問 日笠善勝 統合する古吉野、吉野小学校の跡地利用は模索を行っているか。また地域の人達の意向を聞いたりする中でのように考えているか。



全国的によく調べて

答 町長 これから統合する学校施設や通学のことなどに関心が集中しており、先般、校名が決まり、これから校章・校歌を決めていくわけで、跡地利用については地元の方々と十分協議を行ってまいりたい。

現在でもいくつかのお話を聞いているが、さらに全国的によく調べても

らいたいと思っている。

答 教育長

現在は統合や閉校に係る行事で関係者と協議しており、跡地利用は今後の課題になると思っっている。

今後はどのような形で意見集約をするのか、十分検討してまいりたい。

下水道料金に一考を

問 日笠善勝

大正製薬(株)の水道水の使用量には製造される商品に多く利用されている。町からの水道水の内、下水道を排水されない量の料金を勘案することはできな

条例に基づいて

答 町長

下水道条例でこの場合について規則が定められている。町として2年程前に大正製薬(株)の社員の方がお尋ねに

いか。またその比率を試算したことはないか。

町有保安林の管理は

問 日笠善勝

ゴルフ場計画予定地を取得して丸5年を経過したが、この山林の中で保安林の面積はどのくらいあるか。また温室効果ガス削減の森としての姿勢と景観に優れた里山の創造に補助事業の導入は可能か。

森林税を活用して

答 町長

ゴルフ場跡地は全体面積で168.9haあるが、その内、保安林は19.4ha余りある。

保安林も種類があり、町内ではほとんどが水源かん養の保安林が占めている。地球温暖化の防止にも一役買っているが、岡山県が導入している森林税は台風被害対策もほぼ片付きかけたので、今度は里山ふれあいの森活動支援事業として補助事業にも対応していきたい。

答 上下水道部 総括参事 水道の使用の中で

閉校により跡地利用が検討されている



植月 彬

街路計画については

問 植月 彬 都市計画

整備事業の内、勝間田地区内の街路整備が中途で終わっている箇所もある。

一つには桜道から西に向かうもの、また公民館横の広く整備された道、これは国道179号に接続するように聞いている。

他にもいくつかの計画もあると思うが、今後の対策はどのようなになっているのか。



将来の課題として考える

答 町長 補助金の関係

で、これらの計画が進められてきたが、これからの町の形態を考えると、高齢化も進み、車社会も

今がピークかもしれないし、道路の整備も地権者の協力や莫大な費用のことを思うと、将来の課題として考えざるを得ない。

ると、体育館の東側に仮の出入口をつけますが、西側の出入口が工事車両の出入口とするため南側に変更するので、誘導員を置いたり、教職員も安全指導も行うよう考えております。また校庭内においても工事区域と学校生活区域を区分して子供達の安全を第一に考えて対応していきたい。

小学校通学路の安全は

問 植月 彬 勝間田小学校の改築に伴い、

工事車両の出入りの関係で、校門の位置も変わるものと思う。そうした場合に通学路が変更になることはないか。もしそう

なれば安全に通学できるように保護者はもとより関係地区の方々の協力もいただけるように配慮してほしい。

子供達の安全を第一に

答 教育長 現時点では

大きな変更をしなくてはならないと考えている。東側の出入口も工事が始ま

水の確保はどうか

問 植月 彬 昨今のテレビや新聞で今後の水不足を予測している。

たしかに県北の積雪も少なく、今までのところ降雨も少ない。この夏に備えて水道水の確保の見通しはどうか。

多少は心配している

答 町長 勝央町に関係

する津川ダムと黒木ダムの貯水率が現在80から100%あり、町内のため池もほぼ100%に近いので、なんとかしのげるのではないかと考えているが、今後の降水によっては、な

んらかの対応をせざるを得ないものと思っている。



建設が始まった勝間田小学校仮校舎

日笠 郁夫

環境美化と景観の
保全について

問 日笠郁夫 以前の一般質問にも述べたように、国道、JR路線、河川敷また中国道等ほとんど以前と同じであるが、何とかならないか。

また、工場公園周辺の樹木の管理、町道、運動公園の樹木等の管理についてはどうか。



関係組織が担当
して行っている

答 産業建設総括参事

道路の草刈り清掃、河川の浚渫については美作県民局がやっている。

JRや中国道については、基本的には年一回、見通しの悪い箇所の草刈

りを行っている。

太平台株式会社、高齢者事業団等に委託して工場公園の道路樹木の管理等、また運動公園の草刈り、樹木の管理は教育振興部が行っている。

スクールバスの乗降
場の変更はできない
か

問 日笠郁夫 黒坂地内で黒坂ハイランドから通っている小学生のバス乗降場が179号線を横切るの

は、危険であるので変更できないか。

安全の為十分協議
してほしい

答 教育振興部参事 保護者、バスの運転手、学

校等、バスの乗車人数、道路状況を考慮しながら十分協議を行って、変更の決定をすることになっている。

子供が安全に通学できるように、地元や保護者の方々とも十分協議してもらいたい。

自転車通学の中学生
の交通は安全か

問 日笠郁夫 自転車通

学の中学生の交通指導はなされているか。歩道、自転車道のない県道は危険である。

関係機関とも相談
していきたい

答 教育長 年一回、自

転車組合の協力を得、自転車の安全点検を実施し、不良箇所を修理している。

P.T.A、校外指導員、教員を含めて、登下校途中の安全指導や健全育成指導を行っている。また危険箇所等について要望を受け、それぞれの機関に要望書を提出するなど、安全指導を行っている。

プールの使用と掃除
について

問 日笠郁夫 高取保育園の隣にあるプールの使用はいつからか。掃除は誰がするのか。

例年、高取地区
P.T.A保護者会に

答 教育長 使用は7月1日から8月の末日までとなっている。

清掃については例年、高取地区のP.T.A保護者会の皆さんのお世話になっ

ている。

修理等を含め町長と相談の上、使用状況と照らし合せて、地区保護者会の皆さんと話し合いを進めていく必要があるのではないかと考えている。

ゴルフ場跡地の今後の
対策について

問 日笠郁夫 達成でき

なかったゴミ処理施設は残念ですが、他に何か目的はないか。

企業誘致に向け、
進入路を考えている

答 町長 今の工業団地

が満杯になった場合のことを考えると、新しく企業立地促進法という法律が発足される。補助金等の措置もあるので、それを利用し、先ず進入路を作り、食品加工メーカー等、農業振興に繋がるような企業が誘致できれば良いが、と思っ

福田 弘

年金について

問 福田 弘 1、町に

おいて、かつて年金業務を行っていたが、平成何年くらいまで業務をされたか。

2、町の業務中の年金の記録は今現在どのようなようにしているか。年金の対象者に迷惑をかけるようなことはないかお尋ねしたい。



町民が不利益を被ることがないよう

答 町長 町が関連して

いるのは国民年金のみで法公布で昭和36年4月から業務を開始した。電算化が進み、基礎年金番号が統一され、社会保険庁が電算処理したところから宙に浮いた年金が続出したもので、我が町は手書

き台帳は廃棄しないで保管しているので利用してほしい。

町民の方々が不利益を被らないよう国民年金についてお尋ねがあれば調査をしてあげることができま

交通標識設置について

問 福田 弘 町道田井

線と横田線の交差点(旧勝央中学校東側)で最近事故があった。過去にも何度か事故も

あり、一旦停止等の対策はできないか。

安全施設の整備を進めていきたい

答 総務部総括参事 道

路標識設置は町に権限はないが、カーブミラーやガードレール等の交通安全施設の設置を引き続き進めていきたい。

交通安全対策も関係機関との連携を図りながら青パトの巡回、街頭指導など交通事故防止に努めてまいりたい。



交通事故防止対策を(町道田井線と横田線の交差点)

自治体フォーラム研修

6月23日~24日 香川県三木町

「全国小さくても輝く自治体フォーラム」が香川県三木町で開催され、勝央町と奈義町の議員が参加し、研修を行いました。これは合併をしない町・村が呼びかけとなり、全体会に続き分科会と2日間には最終日には各地の報告があり、左記の参加者アピールを採択し、終了しました。

小規模町村は、「平成の大合併」の中でもまれ、鍛えられて、たくましく成長してきています。本「フォーラム」でも、初期の頃は「困ってやってきた」自治体も多かったものが、回を重ねるたびに「成果を発表する」自治体の数が増してきていることが、そのことを雄弁に語っています。「東京中心の情報発信から、各道州(＝地域)独自の文化や情報の発信が盛んになる。国土のバラエティーが豊かになる」(「中間報告」と言うなら、三木町の大獅子や希少糖による地域づくりに象徴されるように、小規模町村での地域づくりの取り組みこそ注目されなければなりません。そこに改めてスポットをあてながら、将来の地域像・国家像を描くべきではないでしょうか。地方が元気にならないで、国が元気になるはずはありません。小規模町村で暮らし、仕事をする私たちは、こうした実践をより



豊かに育てることを改めて確認し合うものです。そのためにも基礎自治体の自治の総量の拡大と、都道府県の補完的役割が重要になっていると言えます。私たちは、それにふさわしい財源を保障することを国に強く求めるとともに、今回の成果を持ち帰り、さまざまな規模と形の基礎自治体が切磋琢磨しながら豊かな地方自治の経験をさらに広げていくことを誓うものです。

統合に向けて 植月小学校 新校名決まる 勝央北小学校



植月小学校現校舎

植月小学校の歴史

- | | | |
|----|--------|--------------------------------------|
| 明治 | 8年4月 | 設立認可 |
| | 8年7月 | 植月三村、美野、田井を合わせて観音寺に仮校舎を置く |
| | 14年4月 | 校舎を角力場（植月中大谷）に新設移転 |
| | 20年3月 | 校舎東辺の一部を残し焼失 |
| | 20年7月 | 復旧改築 |
| | 36年1月 | 校舎新築竣工 |
| | 41年4月 | 高等科を併置 |
| 大正 | 4年4月 | 裁縫専修学校、実習補修学校設置 |
| | 8年7月 | 校舎増築落成 |
| 昭和 | 9年4月 | 校舎増築 |
| | 16年4月 | 植月国民学校と改称 |
| | 22年4月 | 植月小学校と改称 |
| | 26年8月 | 教務室改築落成 |
| | 29年3月 | 町村合併により勝央町教育委員会の管理となる |
| | 33年10月 | 校舎二棟改築落成 |
| | 34年3月 | 完全学校給食を開始 |
| | 37年4月 | 特殊学級設置 |
| | 41年3月 | 屋内運動場落成 |
| | 47年7月 | 水泳プール竣工 |
| | 49年11月 | 創立百周年記念式典挙行、体育倉庫建築、校旗新調記念碑建立、卒業生名簿作成 |
| | 52年1月 | 南校舎取り壊し、鉄筋二階建校舎六教室新築落成 |
| | 60年8月 | 給食調理場施設設備改善 |
| | 62年9月 | 運動場拡張工事完成 |
| | 63年3月 | 木造新校舎落成、鉄筋校舎改装 |
| 平成 | 8年5月 | 体育館新築落成 |
| | 12年10月 | すもう場移転新築 |
| | 17年4月 | 防球ネット設置 |



植月の角土俵



思い出の校舎（昭和39年5月）

我が町の日本一



岡山県の黒大豆（丹波種）は県北部を中心に栽培されており、その生産量から全国でも有数の産地の一つとなっています。

特に勝央町はその栽培面積で230㌔、生産量で230トと市町村単位では日本一の規模となっています。

（JA勝英竹久施設長）

私達の社の伝統行事

勝間田神社の

「茅の輪くぐり」

この伝統行事は古来から行われていたが、世話人が減ったりしてだんだんさびれてきたのですが、昭和62年に神社が出火全焼し平成2年に今の神社が再建されました。

それを機に当時の総代達が伝統行事の復活を呼びかけ今日に至ったもので、毎年6月30日の夕方から夜にかけて勝間田の氏子が暑い夏を無事息災で過ごせるよう「人形（ひとがた）」に氏名、年齢を書き込み「茅の輪」をくぐり参拝し奉納するもので境内には夜店も開店しにぎわっています。

（出雲井宮司）



無事息災を祈って輪くぐり

編集後記

降り続いた梅雨もようやく上がり暑い夏の季節となりました。

小学校では勝間田小学校の改築工事も始まり

北部3校の統合も校名が勝央北小学校と決まり新しい歴史が作られていくことになりました。

吉野、古吉野、植月の名前も消えていくわけで卒業された方々には寂しい思いを持たれる方も多いことと思います。しかし次代を担う子供達が元気で活動できる学舎で立派に後を継いでくれることでしょう。

さて私達広報委員はこれからも、読みやすく、わかりやすい紙面作りを目指して努力して参りますので、紙面や議会に対するご意見、ご感想などお聞かせください。

広報委員一同